

会派政務調査活動（行政視察）報告書 （総括）

会 派 名	新 政 会
会派の代表者名	橋 本 五 郎
視察（調査）期日	令和元年7月2日～7月4日まで3日間
視察（調査）先	1. 富士市(富士工業技術支援センター) 2. 焼津市(公共施設マネージメント以外推進事業について) 3. 三島市(スマートウェルネスみしまについて)
視察（調査）の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	1. 県内企業の技術開発や課題解決の支援について 富士工業技術支援センターの技術開発や企業への支援等 について視察・研修する。 2. 大仙市の公共施設マネージメント推進についてと焼津 市の公共施設マネージメント以外の相互の良い面とその違いと合 せ計画と事業の推進についてを調査・研修する。 3. 大仙市の健康対策の取り組み方や健康バリエーションについ てと三島市の健康都市づくり(スマートウェルネスみしま)の事業 などの推進と取り組み方についてを視察調査をする。
視察（調査）の行程	別紙のとおり
視察（調査）への 参加議員名	1. 橋本五郎 2. 渡辺秀俊 3. 佐藤清彦 4. 小松栄治
視察（調査）概要	次のページの別紙を参照。

視察(調査)の成果
と本市に反映でき
る事項或いは反映
させたい事項につ
いて

新 政 会

令和元年7月2日～7月4日までの3日間に渡り
静岡県の富士市(富士工業技術支援センター)と
焼津市の(公共施設マネジメント推進事業)そして三島
市の(スマートウェルネスみしま)を視察研修してまい

ました。
1つ目と致しまして富士市の富士工業技術支援センターの地元企業に
対してのものづくりのために技術開発や研究・相談・試験と合せ新しい
産業への開発の創出などを視察調査してきました。まず富士市は
人口254,250人の面積は244.95km²であり富士工業技術センターは静岡県
の工業技術の研究センターとして又、地元の企業や産学官とのC/NF研究センター
を設立して開発や研究では人工知能(AI)のロボットなどのテクノロジーと次
世代自動車医療・福祉・航空・宇宙・環境・光や新エネルギーなど合せ
新たにセルロースナノファイバー(CNF)、IoT、食品など中小企業への支援
をしております。繊維では製紙などが地域産業への支援と特に新成長戦略
研究(次世代自動車軽量化のためのCNF複合材を開発しCNFの分散
性言平価法を確立するなど新しい研究所であります。
文化市でも例(な)に国や県の試験所がありますが、市も加わった研究所や
産学官との協働のものづくり研究所はなく、冷感文化市でも産学官や
企業・農業・漁業などの新しい分野での新研究所や試験所など必要
であると思っております。

つぎに焼津市であります。静岡県の中央部に位置し面積は410km²
で人口は14万人であり焼津市は水産都市としてのとてあります。令和の予算
は一般会計で577億7千万円・特別会計292億4千万円と企業会計233億
5千万円で合計1,053億6千万円あります。水産業のさくらえんの水上げ高は
全国1位であり村。さて、焼津市の視察調査は(公共施設マネジ
メント推進事業)についてであります。内容については①公共施設を取
り巻く環境には公共施設の老朽化は15年ほど劣化が進み放置
すると服で判かる状態になり周辺へも拡大し修繕が必要となる。30
年から40年と経過すると長寿命化計画の工事でも劣化を防ぐこととなる。

視察(調査)の成果
と本市に反映でき
る事項或いは反映
させたい事項につ
いて
(会派としての総
括的意見、上記成
果への今後の取り
組み等)

新 政 会

②公共施設のマネジメントの取り組みの中の公共施設個別
計画は令和2年までに又総合計画の改定は令和3年
までに完了すると全庁的な体制の構築とPDCAサイ
クルの構築と維持管理の中期的な経費の見込やユニバーサルデザ
インの推進と効果額の記載などをおこなう。

③集約化・複合化の再編事業の例は26年度より産学官の共同で公共施設管
理計画システムを構築し再編プランをおこなう前、工事の優先順位度
を指し集約化や再編化をおこなっている例は和町の中一貫校と公民
館・放課後児童クラブを統合しております。

④現状と今後の方針については焼津市の体育館の再編の方針と豊田
公民館・幼稚園・学校給食センター・新庁舎建設に既存庁舎・施設
全体の維持管理の運営の見直しなど令和3年度までおこなう。又課題
については再編施設の減少と利用度感が少なく老朽化した施設の廃
止や再編の総量の削減が困難さに学校の再編は長期間を要する。
合せて施設全体の維持管理・運営形態の見直しでは現時点では、
包括施設管理委託をするしかない。

※ 今後は大仙市と焼津市の相互の良い所を取り入れさらに大仙市の
公共施設マネジメントに活き進め行くこととあります。

次に、三島市でありますが入りが11万人くらいで面積は62.02km²であり
高齢化率が28.7%。温暖な気候と美しい富士山の眺望や湧水
がいたる所に湧き出ている街であります。今回は三島市の健康づくりに
ついてを視察致しました。三島市が挑戦する「健康都市」づくりについて
であります。まずスマートウェルネス(賢く・自然に楽しく・健やかで
幸せな状態)みまはさまざま健康に対する事業をおこなっております。
まず幸福を判断するものとして健康と幸せなことを大事にしていること、アクション
プランの策定(市民の健康寿命の延伸としてお違者度をおげる)又市民の

そ の 他 (会派としての総	<h1 style="font-size: 2em;">新 政 会</h1>
括的意見、上記成 果への今後の取り 組み等)	<p> 幸福度の向上でレベルアップ以上の段階評価の増加を以て市 の経済力の成長加市所力度などのラヤクの上昇をおこなう 取り組みとして、①エビデンス〜科学的根拠に基づき健康 づくりとして健康運動教室と医療費分析②スマート〜無意識 に自然と健康づくりとして歩車共済道を設置とガーデンシティみほの取り組み をおこなう。実例として、歩行者と自転車の安全通行のため自動車の速度や交通の 抑制する道路の部分を行う。又健康マイルジの実施(様々な運動や活動の ポイントがたまり物に替わることができる)と学校や幼保連携コースの新設など。 その他、成果向上事業として脂肪燃焼を促す取り組みに参加実施した人に減量 脂肪と同量の牛肉や三島野菜を提供する。③コラボレーション「けん」から「こ へ」として民間や学生との協働で付加価値の提供や新たな視点の導入 などの事業をおこなう。その他、出張健康鑑査用(健康づくり相談 を実施。民間のコラボイベントやウオーキングイベントを実施。企業や事業所 向けに、健康経営を支援するため市の保健師の出張や従業員の健康 意識を分析し企業に既した健康プログラムを提案する。尚、企業の タレントみほ市と協同で健康クラブを作り事業をおこなう又会員限定の中心 を開催し運動教室や料理教室、健康づくりセミナーと実施するなど。 結果と効果として所感であります。医療費の抑制や市民のお得者度は女性 十〇二一年別は十〇九年上昇している。幸福度は十・九%上昇したとのこと。 又一日に1時間以上の身体活動は男は十・三%女は十・八%上昇し 高齢者の外出頻度は十・七%上昇した。合せて老人クラブや集落会 などに健康の知識や運動の方法を広めていく健康伝道師(健 康アンバサダー)をおいて指導していることでありました。 三島市のめざすところは健康寿命の延伸と幸福度の向上、地域 経済の活性化であります。文仙市でも良い所を学び市民全体 に渡り健康寿命の延伸をおこなう必要があると感じました。 </p>

令和元年度 大仙市議会会派「新政会・市民クラブ・創生会・地域住民の会」行政視察 行程表

令和元年7月2日(火)＝第1日目

こまち10号
 大曲駅 7:48 東京駅 11:04 12:26 13:24 13:30
 こだま655号
 マイクロバス
 富士市「富士工業技術支援センター」見学 15:20
 「県内企業の技術開発や課題解決の支援」について
 富士工業技術支援センター ☎0545-35-5190

富士山本宮浅間神社 15:40 16:20 17:20
 焼津市内ホテル

令和元年7月3日(水)＝第2日目

マイクロバス
 ホテル 9:30 10:00 11:30 11:40 12:30 13:20
 焼津市行政視察 11:30 11:40 12:30 13:20
 「公共施設マネジメント推進事業」について
 焼津市議会事務局 庶務課 ☎054-662-0530 (※会場「焼津公民館」)

ロープウェイ
 久能山東照宮 15:00 15:30 17:00
 東海大学海洋科学館

沼津市内ホテル 18:10

令和元年7月4日(木)＝第3日目

マイクロバス
 ホテル 9:20 10:00 11:30 11:40 13:00 13:20 13:56
 三島市行政視察 11:30 11:40 13:00 13:20 13:56
 「スマートウエルネスみしま」について
 三島市議会事務局 ☎0555-983-2600

ひかり466号
 三島駅 14:40 15:20 18:32
 大曲駅
 こまち27号

(様式第2号)

会派政務調査活動(行政視察)報告書 (総括)

会派名	新政会
会派の代表者名	副会長・小松栄治
視察(調査)期日	令和2年1月20日(月)～令和2年1月22日(水)
視察(調査)先	長野県・中川村及び飯田市
視察(調査)の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	中川村視察の目的は大仙市の地域公共交通は一般交通(バス タクシ等)と大仙市が指定管理者に運行する通学バスや福祉車等 を利用して交通体系をおこなっておりますが、今回、中川村の地域公共交通を 調査・石井修を致し、今後の大仙市の交通体系のあり方に結びつけたい。 飯田市視察の目的は大仙市の地域防災自治組織が90%前後しか 結成されておらず、組織化もまだ日が浅く、活動や取り組み方を模倣して いるのが現状であります。よって、飯田市の地域自治組織の活性化やその具 体的な施策等を調査・石井修を致し、今後の大仙市の自治組織の 活性化と取り組み方に結びつけていきたい。
視察(調査)の行程	別紙のとおり
視察(調査)への 参加議員名	1. 小松栄治 2. 渡辺秀俊 3. 小笠原昌作
視察(調査)概要	新政会の行政視察は令和2年1月20日～21日までの3日間に 渡り長野県・中川村と飯田市を調査・石井修に参りました。 まず、中川村であります。中川村の人口は4,894人で面積は79.05 km ² であり、南アルプスと中央アルプスに囲まれ、林業と果樹、田園の 農村風景が見渡せる美しい村であります。高齢化率は34.89%と 高く村民はバスや自家用車、バス等の交通を利用しております。 又、年間の歳出決算は36.7億円です。さて、中川村の地域公共交 通の(NPO化への行政のあり方と運営費や人的支援の状況と地元NPO 等会社からの反響は余りか又交通バスNAKMOの取扱はどうか加入増

視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について

その他(党派としての総合的意見、上記成果への今後の取り組み等)

や収益の改善に繋げたのかそして活性化にどう結びつけたのかを視察を致しましては、まず中川村営バスが運行を開始したのが昭和46年であり、その後も利用源が減少し他の路線の民間バスも撤退が続きを伴い村営バスは住民の生活を守る足としての運行を拡大に行きました。平成16年には多岐に渡る路線を現在の3路線に統合し合せて交通空白地域をNPO法人ふるさとづくりやしまいかたがNPOタクシーを運行しさらに平成26年には運行時間の一本化と東西線の見直しを行うなどの事業の効率化を進めてあります。尚、運行範囲は村内全域と隣接町内の6ヶ所の駅・病院・学校などであり、TNAKAMPとは巡回バスとNPOタクシーの割引利用を目的としたカードでNPOタクシーの会員が購入可能で、1つはバス乗り放題定期券やタクシー利用割引券と、社会福祉協議会が運営主体の福祉タクシー券が65歳以上が利用、障がい患者では2枚の券が使用できます。課題は、少子高齢化と合せ利用者が減少し、民間のタクシーやバス会社との協力が難航し、運行範囲が限定され幅広のニーズには対応できない状況が懸念がある。良い所は、今後、次世代にも取り入れ検討することがあるのを参考にしたい。

次に飯田市ですが人口は101,581人で面積は658.66km²で年間の歳出決算は450.7億円で長野県の最南端に位置し南アルプスと中央アルプスが聳え南北に流る天竜川と自然豊かな景観に富み気候風土に恵まれております。神楽や人形浄瑠璃など民俗文化が今でも息がいており養蚕や水引などの伝統産業と今はハイテク産業、食料産業とおもに柿・りんご・なしなどの果樹を中心とする農業などをして「りんご並木と人形劇のまち」として知られ、飯田の地名は「急ぎの団」が語源に水引に代表される「急ぎ」に急ぎのある土地柄と見ます。地域のやるきの創出と先の「急ぎ」は多くの人の協力と役割分担に別々の事達成し遂げる仕組みであり「協働」です。「ムスト飯田」の4本とは、辞苑の最末尾の言葉「ムスト」を引用したもので「……し」とする」という意味で行動や意志、意欲を表す言葉であり、昭和67年「万人都市構想」において理想とする都市像の実現に行動理念として「ムスト」を使用して現在に至っております。さて、飯田市は自基本条例の精神が浸透し地域自治組織が機能することで若者が住み続けたい地域づくりを進めております。また、飯田市の地域自治組織の活性化についてであり、飯田市はこれまで合併や編入を致し20の地区がいらして現在に至っております。そうした中で各地区の自治組織制度が確立されてきた。仕組み作りや施策についてであり、

視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について

その他(党派としての総合的意見、上記成果への今後の取り組み等)

行政の意志決定に参加しやすい仕組みと行政と住民の協働を推進する仕組みなど、施策の概要については地域自治組織の内市が主軸となるのは、1つは地域自治区を設置、2つは地域協議会を設置、3つは、自治振興センターと公民館を設置、4つは、パワーアップ地域交付金制度を導入、又、住民の自治組織としてまちづくり委員会(地域の実情に合わせて市内各自治会に6つの委員会を設置)を各20地区で設置、尚、地域自治組織の再構築として「トップからボトム」←は下部組織や現場の院の経営管理を(中心)とする、その他の人的支援制度(旧町村単位に自治振興センターと公民館を併設、又、中心部(5地区)に自治振興センター(共同事務所)と公民館を設置)現在に至っております。飯田市の未来ビジョンについては行政企業、市民の「志」の力を發揮し、リニア時代を見据えた戦略的地域づくりを進め、水と土と人、村サイクルの大きな力を作り出し、豊かなライフスタイルを実現する持続可能な地域経営を目指しております。結い、今後飯田市の樹づくり等を的確に見定め、良い事業や施策等を大仙市の樹づくりに取り入れ、又、検査や委託に研究を致し、大仙市に要望や提言をいたします。

令和元年度 大仙市議会会派「新政会・市民クラブ・創生会」行政視察 行程表

令和2年1月20日（月）＝第1日目

大曲駅 8:43
 こまち12号 11:38
 大宮駅・昼食 12:30
 長野駅 13:53
 14:07
 篠ノ井線 15:20
 松本駅 15:30
 15:40
 ジャンボタクシー 16:30
 市内散策 17:10

令和2年1月21日（火）＝第2日目

ホテル 8:00
 9:30
 11:00
 11:40
 12:30
 13:30
 15:00
 15:30
 16:10
 17:00

- ① 中川村役場：「地域公共交通について」
 - ② 飯田市役所：「地域自治組織の活性化について」
- 議会事務局 座光寺さん 車0265-88-3001（内線50）
 議会事務局 調査係 城下さん 車0265-22-4523（直通）

令和2年1月22日（水）＝第3日目

ホテル 9:00
 9:50
 11:20
 12:00
 13:00
 13:30
 13:57
 15:33
 16:20
 19:38